

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第129号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年8月4日（火） 14時00分ごろ	
発生場所	熊本県天草市 戸島灯台から真方位210° 6,400m付近 (概位 北緯32° 08.87′ 東経130° 02.84′)	
事故等調査の経過	平成21年10月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 ヨット ^{よし} 義丸、12トン 船舶番号、船舶所有者等 235-42353宮崎、株式会社九州土木設計コンサルタント 乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	フィンキールがFRP剥離、舵板が欠損	
事故等の経過	本船は、船長ほか5人が乗船し、機走により天草市砂月浦の湾口東側の築ノ島を通過して、約040°の針路、4～5ノットの速力で航行中、平成21年8月4日14時00分ごろ、浅瀬にフィンキール及び舵板が接触した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 低潮時	
その他の事項	船長は、本事故発生海域を航行するのは初めてであった。 船長は、航海前に航行する海域の水路状況について、海図に当たるなどの調査を行っていなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 船長は、本事故発生海域を航行するのは初めてであったが、航海前に水路状況の調査を適切に行っていなかったため、浅瀬の存在を知らなかったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、天草市砂月浦の湾口東側を北東進中、水路状況の調査を適切に行っていなかったため、浅瀬に向く針路で航行して同浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	